

令和3年度 第1回 平塚市博物館協議会会議録

開催日時 令和3年7月9日(金) 10時～11時30分

開催場所 平塚市博物館 講堂

会議出席者(敬称略)

会長 平井 晃

副会長 安室 知

委員 植田 育男、上間 則子、吉川 裕子、藤吉 敬子

事務局 平井社会教育部長、浜野館長、杉山館長代理(管理担当長)、川端館長代理(学芸担当長)

傍聴者 0名

会議の概要

1 開 会 平井社会教育部長挨拶

2 議 事

(1) 報告事項等について

- ・ 令和2年度春期特別展について

(2) 今後の事業予定について

(3) その他

- ・ 事務連絡等

3 閉 会

議事および質疑

議題(1) 報告事項等について

令和2年度春期特別展の開催報告について事務局川端学芸担当長が説明資料により説明。

委員 博物館のYouTubeチャンネル拝見した。良い内容で、週1回の更新は大変だと思うがぜひ続けていただきたい。タイムリーということでもないが「金目川の治水」の話を拝見した。とても良かったが、アクセス回数が500回に満たないのは、もったいない。広く知らせることを考えていただくようお願いする。ホームページのアクセス回数と比べると低い印象とを感じる。いつ行っても新しい動画があるというのは、サイトを訪ずれる動機付けにもなるので、頑張って更新を続けてほしい。情報の発信について、博物館の研究紀要「自然と文化」の論文だが、ネットでの検索にヒットしない。学生などはインターネットの論文検索サイトしか見ない傾向にある。デジタル化するというひと手間が必要だが全国、全世界に発信できる。図録は販売するものだが、研究紀要や年報は学芸員や研究者が研究の発表に使うもの、博物館の情報発信としてこういった研究者や学者に向けても発信したらより良いのではと感じる。私が関係するところで横須賀市の博物館では、自然分野だけだが博物館のホームページから読むことができる。

そうすると各種論文検索でも出てくる。紀要を買って読む方はそれほど多くはないと思う。

館長 「5分でわかる・・・」、当初は2週間に1回の更新を考えていたが、毎週金曜日に定期的にアップする方が視聴者や来訪者にもわかりやすいと考えた。各分野で過多はあるが、このペースを維持していきたい。「自然と文化」の掲載論文をWeb上にアップできないかとのことだが、急速に普及していることは認識している。館の学芸員が執筆したものについては、問題は少ないと感じる。館外の研究者から寄稿された論文では、これまでネットへの掲載に関しての許諾をいただけていないため、調べていく必要がある。Webでの公開は前向きに検討したい。委員がおっしゃった横須賀での取り組みはWebでの公開のみとなったのか教えていただきたい。

委員 人文系はまだクリアする問題があるようで、まだ公開できていないが、自然分野では、以前勤務した学芸員には許諾を求めるなどしたようだ。今後は投稿規定などでWebへの掲載を規定することも必要。

館長 他館の状況などをリサーチしてみたい。

委員 神奈川県博物館協会の協会報などはデジタル化されている。生命の星・地球博物館でも研究報告などはWebに掲載され、「異議があれば」というような表示がなされているようだが、問題にはなっていない。地球博の自然史資料は過去10年分くらいは実施していたと思う。

委員 20年近く館のワーキンググループで活動してきたが、昨年、この協議会で『自然と文化』をいただいて初めて販売していることを知った。

委員 特別展のアンケートの感想を読むと、改めて素晴らしい展示だったのだなと感じた。

委員 「5分でわかる・・・」は、非常によくできていると感じる。他の館でこういったものはあるか。

館長 他館でもコロナ禍で動画などWebでの事業は取り組まれているが、「平塚学」というネーミングやテーマ設定の部分は平塚市博物館のオリジナルであり特徴といえる。

委員 一般向け、子供向けにもよいテーマ設定だと思う。

委員 私もYouTubeチャンネルを拝見した。とてもよくできていて、周りの知人にも宣伝している。人文も自然もある総合博物館の強みが出ている。今後どんなコンテンツが出てくるのが楽しみ。小・中学校の利用が広がっていくことに期待する。視聴数をあまり気にすることなく着実に進めていってほしい。

館長 10年来、秋に「平塚学講座」という連続講座を開催してきた、その集大成として特別展「平塚学入門」を開催した。そのエッセンスをWeb上の「5分でわかる・・・」としたため、従来の講座のあり方について、どうするべきか考えている。

委員 講座自体をデジタル化して、動画にしたり、ライブラリにするのも良いのでは。

館長 講座の受講生が自ら学ぶことや野外で活動したことを発表してもらうことを企図していた。

議題(2) 令和3年度予定について

今後の事業計画等について事務局川端学芸担当長が説明資料により説明。

館長 プラネタリウムについて補足。昨年度から1日1回の投影で定員は半数としていたため、これ

まで土曜日の午前の回は幼児向け番組の投影としていたものが今年ではできなくなっていた。夏のプログラムでは、この幼児向け投影を毎週金曜日に開催することとした。また、昨年縮小していた小学生向け学習投影、園児向け幼児向け投影は要望もあり、秋以降枠を拡大して実施することとした。

事務局 「5分でわかる・・・」ですが、これまでのタイトルと更新履歴では全76タイトルのうち21タイトルが制作公開されている。残りは52タイトルとなっています。

委員 76タイトルはすごい。費用はどれくらいかかっているか。

事務局 制作費はほぼゼロです。

委員 「5分でわかる・・・」タイトル数と制作数とこれからの制作数について数字が合わないようだが。

事務局 数字を訂正します。残りタイトルは55となります。

委員 「火球と隕石」展のホームページ訪問数とYouTubeの視聴数に大きな開きがあるとのことだが、ホームページにリンクはあるのか。

館長 ホームページには大きなバナーを用意して誘導するようにしているが、視聴数に結び付いていないところがある。

委員 訪問数はあるのに動画の視聴数に結び付かないのは、もったいないと思う。

館長 春期特別展の期間の2か月間でYouTubeのチャンネル登録者数が117人増えた。昨年度当初に「おうちでプラネタリウム」をアップした際には、登録者数が一気に増加したが、その後はやや鈍化した。3月から公開を始めた「5分でわかる・・・」以降は、登録者数は増加傾向にある。

委員 いろいろな対応をされているとのことなので、その効果が表れるよう期待してる。

委員 小学校で「5分でわかる・・・」をご覧になっている先生方はいるか。

委員 見ている先生たちはいると思うが、私の耳には入っていない。夏以降、学校行事の一環で博物館の学芸員と学区内の探索を相談させていただいている。身近なところを専門家から解説してもらうことで自分のこととして考たり、家族と話をしたり、といったことをきっかけに、この「5分でわかる・・・」のことを授業で活用したり、紹介することを考えている。

館長 コロナのためにできなくなってしまうが、これまで学校の博物館見学で学芸員や解説ボランティアが解説を行っていたが、「5分でわかる・・・」を解説の一部として活用できないか、また、今年度GIGAスクールということで、児童生徒にパソコンが一人1台配備され、インターネットからこういった博物館の資源を活用してもらうよう取り組みたいと考えている。

委員 今日ミニコミ誌に「空襲展」のことが取り上げられていた。これは記事を依頼したのか。

館長 今回の展示にあたっては、市長から直接記者に発表する会見の題材として取り上げられた。それもあって、主要紙やミニコミ誌の個別取材があり、大きく取り上げられた。

委員 「夏のイベント」一覧で、申し込み方法に「Webフォーム」があるがこれは便利だが、案内のチラシは紙のみか。Twitterはやっていないのか。

事務局 Twitterは始めていない。

- 委員 前回は LINE のことを聞いたが、平塚市の公式 LINE では美術館の情報は発信されているが、博物館のことは発信されていない。ぜひ活用してほしい。今回の「空襲展」の観覧者の年代は何歳くらいを想定しているのか。空襲体験者は苦しい、悲しい記憶を思い出させる。
- 館長 今回の展示の狙いとしては、これまで空襲の被害や体験を長年調査してきた。その成果を戦争を知らない世代や転入してきた方に、空襲の実態を知ってもらいたい、平塚市の歴史の中で、大きなターニングポイントでもあり博物館の使命として取り組んだ。
- 委員 小学生など若い人たちに、きちんと伝えて、戦争を起こさないとと思うきっかけになってほしいと思う。
- 委員 語り部の話を聞く会などは企画しているか。
- 館長 空襲体験を聞く機会を考えてはいたが、コロナのこともあり、断念した。前回空襲展の際はそういう機会を設けていた。その際は小学生との対話も行った。
- 委員 秋の地質分野の特別展は、他の博物館との共催展か。
- 事務局 県内の地質分野の専門家・学芸員の共同研究の結果をもとに開催するもので、館同士の共催や巡回展ではない。

議題（３）その他

次回の協議会は令和３年１１月１９日（金）に開催することとした。

配 布 資 料

令和3年度 第1回平塚市博物館協議会 次第

令和3年7月9日（金）午前10時
平塚市博物館講堂

1 開会

2 議事

- (1) 報告事項等について
 - ・ 令和2年度春期特別展について
- (2) 今後の事業計画等について
- (3) その他
 - ・ 事務連絡等

3 閉会

以上

平塚市博物館

令和2年度春期特別展「火球と隕石」開催報告

- 1 会期 : 令和3年3月20日(土)～5月30日(日)
- 2 時間 : 午前9時～午後5時
- 3 会場 : 平塚市博物館特別展示室
- 4 主催 : 平塚市博物館
- 5 主旨 : 令和2年7月2日午前2時32分、関東上空を西から東へ流れる大火球が出現し、千葉県習志野市で火球由来と思われる石が回収された。本展では、国内で初めて火球の軌道決定と回収が両立した習志野隕石を展示した。また、流星の科学や珍しい火球の解説に加え、家庭でできる流星観測や実験手法についても紹介した。

6 展示構成と展示資料 :

展示構成

第1章：火球と隕石のひみつ / 第2章：流星を観測する /

第3章：作って楽しむ火球と隕石

主な展示資料

・隕石

習志野隕石1号(70g)、習志野隕石2号(95gと73g)、落下痕跡写真、
2号隕石によって破損した瓦、火球の映像、日心軌道と対地経路、当館所有の隕石

・映像

流星の放射点移動、流星のダストトレイル、アースグレージング火球、流星痕
流星音、昼間の流星、豆まき流星、スターリンク衛星、月面衝突閃光、など

・家庭で作る流星観測や実験道具

流星投影機、老眼鏡で作る望遠鏡、鉄球で作る人工クレーター、カーブミラーや
WEBカメラで作る火球撮影カメラ、流星分科会で開発した装置など

・火球や隕石に関するクイズコーナーなど

7 関連行事 :

講演会と関連展示やイベント

- ・講演会「星降り伝説を訪ねて」澤村泰彦氏(当館元館長) 5/2(日)21名(申込制)
- 講演会「火球を観察しよう」藤井大地(当館学芸員) 5/23(日)23名(申込制)
- ・星を見る会 4/23(金)38名参加 5/21(金)雨天中止(申込制)
- ・プラネタリウム一般投影「習志野隕石のふるさと」
3/27(土)～6/6(日)の土・日曜日、3/31(水)、4/1(木) 当日整理券制
- ・ミニ展示「月のクレーター」5/13(木)～6/6(日)

関連ウェブコンテンツ (<https://hi.rahaku.jp/tokuten/2021fireball/>)

- ・YouTube番組「ものづくりエイター」
カーブミラーで火球観測 / 鉄球で人工クレーター実験 ほか
- ・隕石の3D図鑑

- 8 印刷物 :
 - ・ポスター B3判 400部 ・リーフレット A4判両面 2,500部
 - ・図録 A4縦判 64頁+流星投影機付録6頁 1,000部

9 展示期間中入館者数（令和3年3月20日～5月30日）

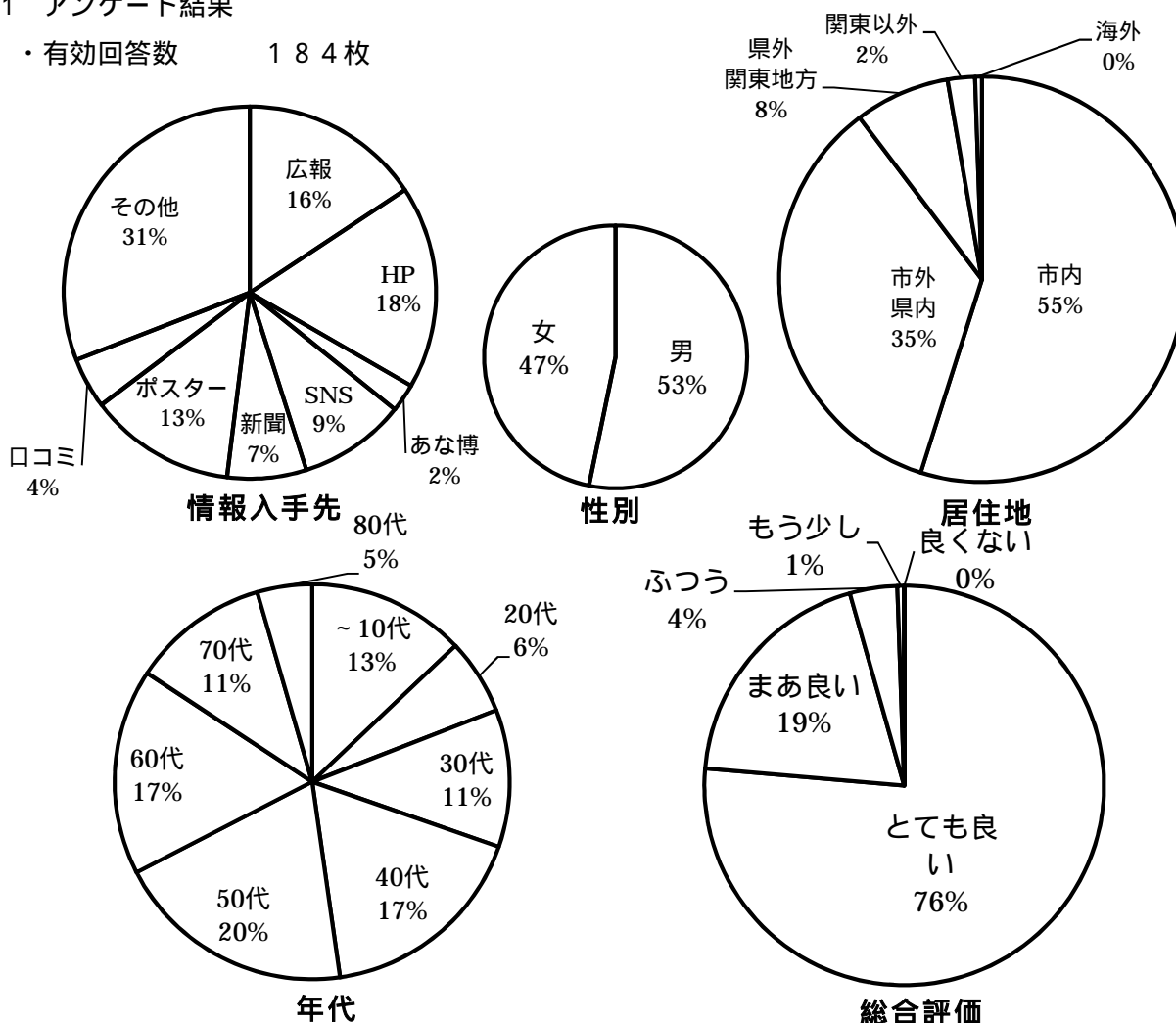
	入館者数			開催日数	子どもの割合	一日平均入館者数	図録売上数
	大人	こども	合計				
3月	983	256	1,239	10	20.7%	124	52
4月	2,337	543	2,880	26	18.9%	111	54
5月	2,755	1,088	3,843	26	28.3%	148	81
合計	6,075	1,887	7,962	62	23.7%	128	187
(参考)							
2年度秋期特別展「よみがえる少年の日々」	4,247	1,199	5,446	50	22.0%	109	200
元年度春期特別展「空を見上げよう」	3,741	1,091	4,832	67	22.6%	72	79
元年度冬期特別展「賢治がみつめた石と星」	8,116	3,248	11,364	58	28.6%	196	779
元年度秋期特別展「平塚学入門」	7,795	3,440	11,235	62	30.6%	181	416

10 展示期間中アクセス数（令和3年3月20日～5月30日）

博物館ホームページ訪問数：65,758 Youtube 閲覧数：8,257（チャンネル登録者+117）

11 アンケート結果

・有効回答数 184枚



集計結果の概要

アンケートの回収枚数は184枚であった。回答者の居住地をみると市内が多数で県外からの来館は少なかった。年齢別では20代以下や70代以上が少なく、40代から60代の大人が多い。特別展情報の入手先では、「HP」に次いで、「広報ひらつか」「ポスター」「SNS」が多く、逆に「口コミ」「新聞」は少なかった。総合評価は、「とても良い」が76%と、高い評価をいただいた。感想については以下に掲載する。

感想、ご意見

- ・話題の隕石の実物を展示し、くすっと笑える解説が丁寧に書いてあり、見ごたえがあった。流星の映像も良かった。とても分かり易く楽しく見る事が出来ました。また見に来たいと思います。
- ・今年こそペランダからダイヤモンド富士を見えることを期待しています。平塚プラネタリウム館と隕石のことをテレビで拝見しています。
- ・クイズが楽しかったです。元ネタは何だろうと考えるのがおもしろかったです。
- ・本物のフレッシュな隕石を見られたことがまず面白い。漫画・アニメネタの見出しフレーズで説明文への興味を湧かせる手法が高校の文化祭を思い出して面白かった。ニュースなどを見てどのように観測しているのだろうと思っていたことやそもそもの流星群の成り立ちなどが分かりやすくてよかったです。
- ・火球と言えば藤井さん。話題の習志野隕石をこんなに早く見られてうれしいです。ますます宇宙への興味がわきました。
- ・クイズ形式はとても良い 他の展示でも出来そう。
- ・夜空を見る楽しみができました。様々な流星の映像表示は興味があつた。住んでいる身近な町で地球の不思議な現象が起きていることに感動です。時代の流行を取り入れながらの展示や表示の工夫は「くすっ！」と笑えて、思わずパネルを見る（読む）ことができ、最後まで読みました。
- ・地域の方も加わってのすばらしい活動の成果を見させていただきました。感心すると共に新たなおどろきもあり、楽しく学ばせていただきました。一日にふる流星の量は1t。びっくりです。
- ・地球取扱い説明書をよく読んで生活してゆきます。
- ・火球と隕石がこんなに身近で威力のあるものだとは知らなかった びっくりした。誰もケガしなくて良かった。
- ・とてもわかりやすく素人でも火球や隕石の面白さがわかりました。「火球と言えば平塚市博物館」をもっと世に広げていってください。皆様の活躍を今後も楽しみにしています。湘南平や平塚に関してなじみがあったので親近感がありました。
- ・クイズは子ども向けのものもあって面白かったですが、展示全体にはルビがないので、ターゲットがはっきりしない印象でした。私個人は大変興味深く拝見し、本物のならしのいん石が見られて感動しました。（展示ケースがもう少しキレイだとありがたさも倍増するかも...）
- ・火球や隕石について、またその発生源であるすい星や小惑星について良く分かりました。また、市民の方、アマチュア天文学者の方の観測協力が重要である事もとても良く分かりました。
- ・子供たちが読むのにふりがなが欲しいです。子供とともに来ました。
- ・詳しく説明しようとする展示が難しくなるのでかなり苦心されているように見うけました。コロナで来館者が少なくなって残念ですが、今後もこのような企画を行って頂けたらと思います。
- ・火球の映像が迫力があり、見ごたえがありました。知識だけではなく、時々ユーモアや笑いのある工

夫された内容もあり、心の中でクスッとしました。また、いろいろな特別展を楽しみにしています。無料で見れたこともよかったです。ありがとうございました。

- ・"現象や専門用語を説明する際、選ばれたことばや一説に、"くすっ"と楽しませてもらいました。専門知識に加えて、人へ伝える教養量(ゴイ)の多さを求められるお仕事、とってもおもしろかったです。(夏のペルセウス座流星群を楽しみに)。
- ・瓦が割れるくらいなのに、展示されている隕石が小さいので不思議です。
- ・毎晩寝る前にベランダに出て(もちろん晴れた日だけ)月を見、それから空一面を見まわしていると心が安まる。田舎(岩手県)に居る頃は当たり前と思っていた空模様(空の様子)が今は意識して見るようになった。心が解放されて行くのが心地良い。
- ・ユーモアセンスのある展示でとても良かったです。オカエリナサト。火球音というものが本当にある事を知りました。日本で火球が流れると、平塚博物館の映像がかならずニュースで放送されますね。これからもおうえんしています。
- ・流星の起源となる天体、チリの軌道と地球の交点で流星になる、の解説が良かった、流星群の個性はそこから来るのですね。クイズはなかなか難しかった。
- ・(かつて)天文ファンだった私には(年をとって夜起きていられなくなり)大変、興味深いテーマでした。かつて流星群は何回か見に行きましたが、その時のワクワクを思い出しました。ありがとうございました。
- ・千葉出身で、新社会人になり平塚の地を踏んだわけだが、よく利用していた津田沼(習志野)と縁があるものをこの地で見るとは思わなかった。
- ・子ども(小4)と来ました。子どもには少し難しかったかも。大人には見せ方が工夫されていて面白かったです。
- ・クイズをしながらまわるのがたのしかったです。天体観測、むずかしい、道具が必要と思っていましたが、これからの流星の日程メモしたので、楽しみにしたいと思います。ありがとうございました!
- ・おもしろかった。文字が読みやすく良かった。
- ・興味を持っている知人が見に来る予定だったが、感染者増加のニュースで見に来られなかったので、展示期間を延長するか、再度開催していただけると嬉しいです。
- ・とても楽しく観せて頂きました。ありがとうございました。星空ライブカメラがあったら毎日拝見したいです(要望)
- ・身近な道具を使って観測できる工夫がおもしろいです。
- ・とても楽しかった。コロナの時でなければ子供から大人までみんなに見てもらいたい。又来たいです。
- ・火球の映像が大画面で見ることができてよかったです。4才と7才の子どもたちも、面白そうに隕石を見られました。また、クイズのイベントも知識を深めるのに役立ちました。
- ・説明に工夫がされ理解しやすいが、時々、素人の知らない言葉があり、十分に理解できない。自作の紹介は大変興味深かったです。大きなモニターは何でしょうか?
- ・展示の解説がとてもわかりやすかった。動画が多く、写真中心の展示より良かった。「見せ方」の工夫を感じた(EVA風タイトルなど、トップをねらえ)
- ・藤井さんのファンです。今回この展示があると知り、絶対行こうと思ってました。来れてよかったです。昔、父がこちらの博物館にお世話になっていたころがあったので、次は、父と来たいと思います。講演会もいけたらぜひ行きます。
- ・火球って突然そうぐうするんですね~びっくりです。かわらが割れた人はお家は直してもらったのか

な。

- ・習志野隕石の実物がみれてとてもよかったです。思ったより小さかったけど、地球に落ちたその中で大きいのでしょう。ペットボトルとチップスターの箱で望遠鏡が作れたり、カーブミラーで全天撮影ができるのは新発見でした。
- ・模型が思ったよりも細部まで造りこまれていてよく見るとオモシロかった。
- ・火球が落ちてくる動画に見入ってしまいました。流星の種類の説明がわかり易かった。祖母が幼少期に伊豆でUFOを見たと言っていたが、火球ではなかったかと映像を見て感じた。
- ・解説はちょっと難しいなと思いました（隕石が流れる原理とか）、動画や本物の隕石の展示が本当に面白かったです。学芸員さんをご自宅と実家にカメラを設置されていると知ってびっくりしました。人に薦めたいと思える展示でした。有難うございました。
- ・写真や実物が多くありとても楽しかった。朝イチで太陽観察の説明を下さりありがとうございました。中学生たちにも博物館たのしかったこと伝えようと思います。
- ・ステイホーム期間中、子ども達がグーグルアースでお散歩中に神奈川県立さと山公園上空で火球らしきものを発見しました。それをきっかけに子供たちが火球に興味を持ったので来館しました。これからもがんばって下さい。
- ・TVで「平塚市博物館」とテロップが出るが増えて、どんな展示なのかとても興味がわき来館しました。解説文がとても楽しくて娘と笑いながら観れました。
- ・二回目です！星や宇宙への愛が伝わってきました！工夫が凝らされ、取説も展示も面白かったです～。次回続編も期待しています。ANDもう少し予算がとれるといいですネ！市長！よろしくおねがいします！
- ・4月に平塚市に引っ越して来ました。テーマに誘われて来ました。展示はわかりやすく面白かったです。無料なのにはびっくりしました。また来たいです。
- ・観測の手引きがわかりやすく、実際にできそうなやりかたを紹介していて面白かったです。
- ・習志野隕石の落下がきっかけでこのような立派な展示会がお出来になりましたことをおよろこび申し上げます。来場者が少ないようでもったいないような気がします。おそまきながら研究仲間にPRしましょう。ISSの航跡の写真があったら興味を引いたと思います。
- ・よく拝見させて頂いています。流星の音や変わった流星はとてもわかりやすく興味深かったです。地球以外の流れ星の動画は今一つわかりませんでした。クイズもほとんどわからず...(笑)時間があつたらまた伺いたいです。
- ・この博物館自体が流星観察に取り組み楽しんでいることが伝わる展示でした。要所にアニメの小ネタが挟まっているのも担当者の生の声を感じられて面白い。まあ、塩梅次第でしょうが。
- ・ふざけ具合も含めてとても楽しめました。観察と実験も楽しそうでした。
- ・センスある展示で近年のドラマや本のワードを取り入れてると思いました。星に対する情熱と愛がある。習志野隕石、例えば地上の花崗岩で同じ重さの70gならこれぐい...とか地上の石との石との比較が欲しかった。

展 示

夏期特別展では、平塚空襲の実態および被災前後の市民生活の様相をお伝えします。秋期特別展では、神奈川県地質とその成り立ちに関する最新の知見を紹介し、春期特別展では、市内における近年の発掘調査成果を紹介し、「第21回博物館文化祭」では、博物館で活動するワーキンググループの活動成果を発表します。

1階寄贈品コーナーでは概ね月替わりで各分野の企画展を開催します。2階情報コーナーでは特別展のダイジェスト展やミニ展示を開催します。

特別展	春期特別展 「火球と隕石」	2021	3月 20日	～	5月 30日
	夏期特別展 「平塚空襲 その時、それまで、それから」		7月 16日	～	9月 5日
	秋期特別展 「(仮)神奈川の地質」		10月 23日	～	1月 10日
	第21回博物館文化祭 - ワーキンググループ活動 展示・報告会・実演 -	2022	2月 5日	～	2月 20日
	春期特別展 「掘り起こされた平塚4」		3月 19日	～	5月 8日

寄贈品 コーナー	考古 「鎌倉武士の足跡をたどる」	2021	3月 18日	～	5月 9日
	天文 「月のクレーター」		5月 13日	～	6月 6日
	自然系 「新着資料展 - 自然分野 - 」		6月 19日	～	7月 18日
	考古 「市内の遺跡を歩く」		7月 22日	～	9月 5日
	全体 博物館実習生制作展示		9月 17日	～	9月 29日
	生物 「(仮)中勘助展」		10月 2日	～	11月 3日
	人文系 「新着資料展 - 人文分野 - 」		11月 6日	～	12月 5日
	地質 (内容未定)		12月 9日	～	1月 16日
	民俗 (内容未定)	2022	1月 20日	～	2月 23日
	歴史 (内容未定)		2月 26日	～	4月 3日

情報 コーナー	地質 ひらつか防災まちづくりの会 「東日本大震災から10年」	2021	3月 6日	～	4月 11日
	天文 天体観察会天体写真展		4月 15日	～	6月 6日
	天文 ポスト特別展「火球と隕石」		6月 19日	～	9月 8日
	以下、内容未定				

プラネタリウム

プラネタリウムの一般投影は、毎週土・日曜日と、春・夏・冬休み期間中の水・木曜日に行います。8月は金曜日限定で、幼児向け番組を投影します。当面は、投影時間を午後2時からの1回のみとし、32名の定員で実施します。感染状況が改善されれば、午前11時から投影や特別投影等を実施します。また、幼児団体投影は市内の園のみ、学習投影は市内の学校に限定し、予約制で水・木・金曜日午前に実施します。

一般投影	一般向け投影 「習志野隕石のふるさと」	2021	3月 27日	～	6月 6日
	一般向け投影 「フリートーク・プラネタリウム」		6月 19日	～	7月 18日
	一般向け投影 「惑星たちの 1決定戦！」		7月 24日	～	9月 26日
	一般向け投影 「電波で探る宇宙 ～アルマ望遠鏡10年の軌跡」		10月 2日	～	11月 28日
	一般向け投影 「2022年の天文現象」		12月 4日	～	1月 30日
	一般向け投影 「鎌倉武士が見た星空 ～吾妻鏡に残された天の記録」	2022	2月 5日	～	4月 3日
特別投影	星空散歩 (6回)	2021	10月 3日	～	3月 6日
	星空音楽館 (2回)	2021	11月 14日	・	1月 23日
	星よりも、遠くへ (3回)	2022	3月 11日	～	3月 13日

コンサート	シアトリカル・プラネタリウム (2回)	2021 8月 20日 ・ 3月 25日
	プラネタリウム・コンサート	未定

各種普及行事

当面の間、すべての行事を事前申込制で実施します。

申込制 行事	考古	考古学ってなに？	2021 8月 1日
		考古学入門講座 (3回)	2021 10/23 11/20 12/18
	歴史	郷土史入門講座 (3回)	2022 1/23 2/20 3/20
		民俗	石仏めぐり
	体験学習「お飾りをつくろう」		2021 12月 26日
	地質	自然観察入門講座「相模川流域ジオツアー入門」(3回)	2021 4/24 9/25 2/26
		体験学習「サメの歯化石のレプリカをつくろう」(2回)	2021 8月 12日 ・ 8月 17日
	生物	自然教室 (7回)	2021 4月 17日 ~ 3月 19日
		きのこの観察会	2021 10月 21日
	天文	星を見る会 (10回)	2021 4月 23日 ~ 3月 11日
		天文学入門講座 (8回)	2021 5月 8日 ~ 2月 12日
		望遠鏡を作って月食を観察しよう (3回)	2021 5/15 5/16 11/19
		不思議な板で万華鏡を作ろう (2回)	2021 8月 6日
		体験！宇宙飛行士選抜試験	2021 8月 17日
	総合	平塚学講座	未定

会員制 行事	考古	平塚の古代を学ぶ会	毎月1回日曜日
		古代生活実験室	毎月1回木曜日
		東国史跡踏査団	毎月1回土曜日
	歴史	古文書講読会	毎週金曜日
		裏打ちの会	毎月1回水曜日
		平塚の空襲と戦災を記録する会	毎月1回土曜日
		地域史研究ゼミ	毎月1回土曜日
	民俗	石仏を調べる会	毎月第二第四木曜日
		民俗探訪会	毎月第三水曜日
		祭りばやし研究会	毎月1回土曜日
		聞き書きの会	毎月第二火曜日
	地質	地球科学野外ゼミ	毎月1回土・日曜日
	生物	生き物ズームプロジェクト	毎月1回日曜日
	天文	天体観察会	毎月1~2回土・日曜日
	総合	展示解説ボランティアの会	毎月1回木曜日

その他の全館的事業

館内のくん蒸・消毒に伴う休館	2021 6月 7日 ~ 6月 18日
博物館実習	2021 9月 8日 ~ 9月 16日

* 新型コロナウイルスの感染状況等により展示や行事の内容・日時が断りなく変更される場合がありますので、最新の「博物館ホームページ」「広報ひらつか」等でご確認ください。

平塚市博物館

夏のイベント

《申し込み方法》

・往復はがきまたは Web フォームからお申し込みください。

・往復はがきは、住所・氏名・電話番号・学年（または年齢）・イベント名を記入し、締め切り（当日消印有効）までにお申し込みください。開催日が複数あるイベントは、希望日も明記してください。

・住所

〒254-0041 神奈川県平塚市浅間町 12-41

・Web フォームは、以下の各フォームから締め切りまでにお申し込みください。

・応募多数時は平塚市内在住者を優先し、抽選を行います。

※料金の記載がないものは無料で参加可能です。

体験学習

◆とりの手羽先骨格標本を作ろう

内容：鶏の手羽先の骨を組み立てます。
手羽先の骨を通して、鳥の形態を学びます。

日時：①7月29日（木）、②8月4日（水）
各日午前9時30分～午前11時30分

場所：講堂

対象：小学校3年生～中学生

（小学生は保護者1名同伴のこと）

定員：5組（1組につききょうだい2名まで）

締切：7月13日（火）

◆体験！宇宙飛行士選抜試験

内容：宇宙飛行士になるための模擬試験を体験しつつ、宇宙飛行士の仕事や必要な資質を学びます。

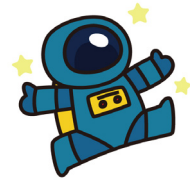
日時：8月17日（火）午後1時30分～午後4時

場所：講堂・プラネタリウム

対象：小学校4年生以上高校生まで

定員：8名

締切：7月31日（土）



web フォームからのお申し込み

<https://www.hirahaku.jp/taiken/>



講座

◆考古学（こうこがく）ってなに？

内容：博物館などで展示されている土器や石器からは何がわかるのでしょうか。それらについて研究する「考古学」についてお話しします。

日時：8月1日（日）
午前10時30分～午前11時15分

場所：科学教室

対象：小学校6年生以上高校生まで

定員：5名（保護者同伴の場合は1名まで）

締切：7月20日（火）

web フォームからのお申し込み

<https://www.hirahaku.jp/taiken/>



星を見る会

◆土星と夏の星を見よう

内容：環を持つことで有名な土星や夏の星を望遠鏡で観察します。

日時：8月5日（木） / 締切：7月24日（土）

◆月と土星、夏の星を見よう

内容：満月少し前の月や環を持つことで有名な土星、夏の星を望遠鏡で観察します。

日時：8月19日（木） / 締切：8月7日（土）

日時：各日 午後7時～午後8時30分

場所：屋上 対象：一般

定員：15組（1組4名まで）

web フォームからのお申し込み

<https://www.hirahaku.jp/hoshiwomirukai2/>



自然教室

◆夕方の鳥を見よう

内容：夏の夕方の野鳥たちの活動を、水辺やその周辺で観察します。

日時：8月28日(土)
午後3時30分～午後6時00分

講師：こまたん 場所：金目川(雨天時は中止)
対象：一般(小学生以下は保護者同伴)

定員：20名 締切：8月14日(土)

その他：雨天時は中止となります。

webフォームからのお申し込み

<https://www.hirahaku.jp/taiken/>



夏期特別展と関連行事

◆平塚空襲 その時、それまで、それから

内容：平塚空襲の実態とその前後の市民生活を紹介します。

会期：7月16日(金)～9月5日(日)

場所：特別展示室

◆夏期特別展記念講演会

「二宮・大磯・平塚における本土防衛」

内容：軍事遺構の調査から明らかにされた平塚空襲の頃の決戦体制と地域についてお話しします。

講師：市原誠(郷土史研究家)

日時：7月25日(日)午後1時30分～午後3時

場所：講堂

対象：一般

定員：30名

締切：7月13日(火)

◆夏期特別展展示解説会

内容：特別展のみどころなどを解説します。

日時：①7月31日(土)、②8月22日(日)

各日午後1時30分～午後2時30分

場所：講堂 / 対象：一般 / 定員：各日30名

締切：①7月20日(火) ②8月12日(木)

webフォームからのお申し込み

<https://hirahaku.jp/tokuten/2021Airstrike/>



体験学習

◆不思議な板で万華鏡を作ろう

内容：偏光板という不思議な板をつかって万華鏡を作ります。

日時：8月6日(金)

①午前10時～午前10時45分

②午後2時～午後2時45分

場所：科学教室

対象：一般(未就学児は保護者同伴。保護者の付き添いは子ども1名につき1名まで)

定員：各回7名(先着順)

参加方法：開始1時間前より1階受付で整理券を配布。

プラネタリウム

◆フリートーク・プラネタリウム

内容：毎回、学芸員がテーマを変えてお話しします。どんな内容になるかは来てからのお楽しみ!

投影日：7月18日(日)までの土・日曜日

時間：各日午後2時から投影開始

◆太陽系 惑星 No.1 決定戦!

内容：太陽系の惑星たちが大きさや明るさ、衛星の数などを競います。金メダルをたくさんゲットできるのはどの惑星でしょうか!?

投影日：7月24日(土)～8月29日(日)

の水・木・土・日曜日

9月4日(土)～9月26日(日)

の土・日曜日

時間：各日午後2時から投影開始

◆幼児投影

「タケルくん どうしてひるとよるはあるの?」

内容：コロナ禍で投影できていない幼児向け番組を8月の金曜日限定で投影します。タケルくんの一日を通して昼と夜がどうして交互にやってくるのか考えてみましょう!

投影日：8月6日(金)～8月27日(金)の金曜日

時間：各日午後2時から投影開始



・定員：32名/自由席(座れる席は一席おきになります)

・観覧料：200円(18歳未満65歳以上の方は無料/65歳以上の方は年齢を確認できるものをご用意ください)

整理券を当日午前9時より受付で配布(今回に限り代表者のみでも可、5枚まで)

その後、午後1時15分～午後1時45分に観覧券を販売

・観覧者全員が揃ってから観覧券をお求めのうえ、午後1時45分までに3階にお越しください

・入場前に連絡先の記入と検温を行っていただきます(体温が37.5℃以上の方とそのお連れ様はご入場いただけません)

・マスクの着用をお願いします ・投影開始後のご入場、途中退出はできません

平塚市博物館 2021 年度 秋期特別展
「(仮) 神奈川の地質」概要(案)

1. 日程 2021(令和3)年10月23日(土) ~ 2022(令和4)年1月10日(月)

2. 会場 平塚市博物館 1階 特別展示室

3. 展示概要

神奈川県は、複数のプレートがせめぎあう極めて特殊な場所に存在している。その複雑な大地の成り立ちについては、数多くの研究によって新しいことが次々と明らかになることで、幾度も書き換えられてきた。本展示では、県内の博物館に勤める学芸員をはじめとする地質の専門家らによってまとめられた、神奈川県の地質とその成り立ちに関する最新の知見を紹介する。

4. 展示構成および主な展示資料

1章 神奈川県の地形・地質概略

: 地質図・標高図・活断層図等(地形模型へのプロジェクションマッピング)

2章 神奈川県の地史

: 地史解説動画、県の石

3章 県内各地の地形・地質

: 各地の岩石・化石

4章 県内の化石・鉱物

: 県内の主要な化石・鉱物産地 MAP、大型化石、県内産鉱物

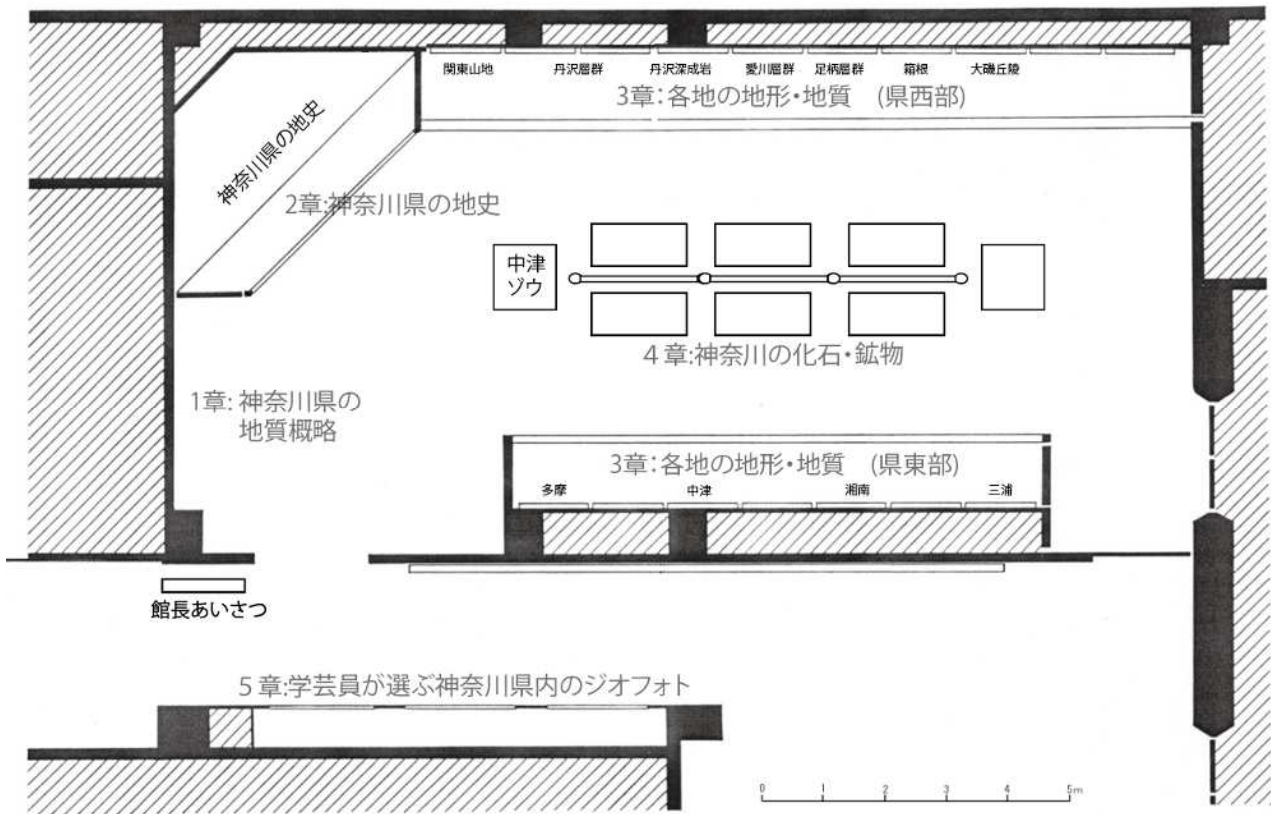
5章 学芸員が選ぶ神奈川県内のジオフォト

: 県内各地の学芸員が選ぶ地質にまつわる景観写真と解説

5. 関連事業

- 特別展展示解説(2回) 13:00~13:45
日程未定
各 13:00~13:45 特別展示室 自由
- 講演会「(仮) 神奈川県内の地質の見どころ」県内博物館学芸員
10月31日(日) 13:00~16:00 講堂 申込制
12月18日(土) 13:00~16:00 講堂 申込制
(メールまたは往復はがきで申し込み)
- 野外観察会「(仮) 神奈川県域ジオツアー特別編」県内博物館学芸員
11月14日(日) 13:00~16:00 申込制
12月4日(土) 13:00~16:00 申込制
1月9日(日) 13:00~16:00 申込制
(メールまたは往復はがきで申し込み)

6. 展示レイアウト



7. 印刷物

- ポスター B3 版片面 カラー 500 部
- リーフレット A4 版両面 カラー 3,000 部
- 図録 A4 版 72 頁 カラー 1,000 部

8. スケジュール (予定)

- 7 月中 ポスター・リーフレット・図録仕様確定
- 8 月中旬 ポスター・リーフレット入稿
- 9 月中旬 ポスター・ちらし納品
- 9 月下旬 図録入稿
- 10 月以降 展示作業開始

以 上

図録番号	タイトル	分野	
1-1-1	宇宙の中の地球	天文	
1-1-2	地球の中の平塚	天文	2021/6/18
1-1-3	フォッサマグナと平塚	地質	
1-1-4	南関東を作るプレート	地質	
1-1-5	プレートの境界と相模川のなりたち	地質	2021/5/21
1-1-6	平塚で見る天文現象	天文	2021/4/2
1-1-7	平塚から見える星空	天文	
1-1-8	平塚と太陽	天文	2021/3/26
1-2-1	湘南の地形と相模湾	地質	2021/3/26
1-2-2	平塚の河川	地質	2021/7/2
1-2-3	平塚はプレートの境界だった	地質	2021/5/21
1-2-4	氷河時代の平塚	地質	
1-2-5	隆起した湘南平	地質	
1-2-6	ローム層と火砕流がつくる地形	地質	
1-2-7	岡崎大地と伊勢原断層	地質	
1-2-8	金目川の流路変遷	地質	
1-2-9	相模平野の成立	地質	
1-2-10	砂堆は海の名残	地質	
1-2-11	川がつくった微地形	地質	
1-3-1	平塚市民の木・花・鳥	生物	2021/3/26
1-3-2	平塚の野鳥	生物	2021/5/7
1-3-3	増えた植物・減った植物	生物	
1-3-4	しらさぎと鳥のねぐらと河畔林	生物	
1-3-5	変わりゆく平塚のセミ	生物	
1-3-6	平塚海岸のウミガメ	生物	2021/5/28
2-1-1	「平塚」の地名伝承	考古	
2-1-2	平塚の貝塚	考古	2021/3/26
2-1-3	古墳を作った大豪族	考古	2021/4/23
2-1-4	相模国府	考古	
2-1-5	古代東海道駅路	考古	
2-2-1	頼朝を支えた相模武士	考古	
2-2-2	鎌倉公方と平塚	考古	
2-2-3	上杉氏と三浦氏	考古	
2-2-4	小田原北条氏と家臣たち	考古	
2-3-1	中原御殿	歴史	2021/3/26
2-3-2	中原御林	歴史	2021/4/16
2-3-3	金目川の治水	歴史	2021/4/30
2-3-4	金目川の筋替え	歴史	

「5分でわかる平塚学入門」制作経過

(2021.7.8現在)

2-3-5	金目川の用水	歴史	
2-3-6	東海道平塚宿	歴史	
2-3-7	相模川の水運	歴史	
2-3-8	須加湊と相模湾の水運	歴史	
2-3-9	宝永の富士噴火	歴史・地質	
2-4-1	海軍火薬廠	歴史・天文	
2-4-2	関東大震災	歴史・地質	
2-4-3	平塚市政施行	歴史	
2-4-4	平塚空襲	歴史	
2-4-5	戦後復興と復興まつり	歴史	
2-4-6	七夕の街・ひらつか	天文	
2-4-7	戦後の町村合併	歴史	
2-4-8	高度経済成長と平塚	歴史	
2-4-9	失われる星空－平塚で考える光害	天文	
3-1-1	田んぼを流れる金目川	民俗	
3-1-2	どぶっ田	民俗	
3-1-3	漁の今昔	民俗	2021/6/25
3-1-4	須賀のボテイ	民俗	2021/5/14
3-1-5	開運招福！相州だるま	民俗	
3-2-1	縄文人の願い	考古	2021/6/11
3-2-2	相模国府祭	民俗	
3-2-3	真田のお天王さん	民俗	
3-2-4	どっこい神輿と甚句	民俗	
3-2-5	祭ばやしの伝統	民俗	
3-2-6	セーノカミさんのかたち	民俗	2021/3/26
3-2-7	セートバレーで厄払い	民俗	
3-2-8	お盆のスナモリ	民俗	
3-2-9	平塚のお月見と団子盗り	天文	
3-2-10	月待ちと二十三夜塔	天文	
3-2-11	平塚市の庚申塔	民俗	2021/6/4
3-2-12	漁の神仏	民俗	
3-2-13	徳本上人と大会念仏	民俗	
3-2-14	ダイカイと赤飯	民俗	
3-2-15	平塚の星祭	天文	
3-2-16	すべての道は大山へ通ず	民俗	
3-2-17	夏山開山！大山灯籠	民俗	
3-2-18	雨乞いの風習	民俗	
3-2-19	茶湯寺への百一日詣り	民俗	

「5分でわかる平塚学入門」制作経過

(2021.7.8現在)

	全	終了	残	完了率	
天文	10	4	6	40.0%	60.0%
地質	14	4	10	28.6%	71.4%
生物	6	3	3	50.0%	50.0%
歴史	13	3	10	23.1%	76.9%
考古	10	3	7	30.0%	70.0%
民俗	20	4	16	20.0%	80.0%
歴史・天文	1		1	0.0%	100.0%
歴史・地質	2		2	0.0%	100.0%
	76	21	52		